



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)
6・7月号

新芽の力

校長 荻須 文裕

マスク姿の生徒たちと、朝日が差す校門で挨拶を交わします。ちよっぴり眠そうな目をした生徒もいれば、友達との会話に、瞳を輝かせている生徒もいます。学校に、息吹が戻りました。「おはようございます。」

「あちらこちらから、元気な声が聞こえる喜びを感じます。」

校舎へ戻ろうとする私に、ある生徒が話しかけてくれました。

「校長先生、読みましたよ。」

前号の葵中新聞が発行されて、すぐのことです。校舎へと一緒に歩きながら、その場所へ来たので、夾竹桃を紹介しました。前号に書き留めた若木です。この木は、八年前の修学旅行で広島から持ち帰りました。苗木でしたが、今はすっかりと根を張り、青々とした葉を茂らせています。平成二十三年に起きた東日本大震災のために、当時の修学旅行は、中国地方へ行きました。そのとき、原爆ドームを訪れた際に、平和祈念資料館の方からいただいたのです。

原爆ですべて焼き尽くされた地で、最初に芽を出したのが、夾竹桃だったそうです。想像を絶する悲惨な風景が

広がっていたと聞きます。当時の人は、どのような思いで、夾竹桃の芽吹きを見たのでしょうか。

現在、新型コロナウイルスの影響は、学校生活に大きな影を落としています。多くの行事は、変更を余儀なくされました。また、運動部の夏の大会は、全国大会や地方大会が中止となりました。しかし、生徒たちの夢を叶える努力は、多くの人の力によって続けられています。感染予防に配慮しつつ、市長杯の開催が決まりました。さらに、吹奏楽祭は、ケーブルテレビ局の協力を得て、各校が各々収録した演奏を、一括して放送するそうです。普段どおりにできないことや、百分とはいかないことがあるでしょう。けれど、一緒に練習してきた仲間と力を合わせ、この貴重なチャンスを生かしてほしいと願います。若者には、逆境に打ち勝つ、強い力があるのですから。

修学旅行は、関東から静岡・山梨へと訪問地を変更します。自然と触れ合う活動をとおして、友達との絆を深め、多くの学びが得られることでしょう。

しかし、油断はできません。ウイルスが再び忍び寄れば、これらの機会が失われるかもしれません。手洗いが予防の基本です。新しい生活様式を実践して、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

市長杯に向けて

努力の証と感謝の気持ち

野球部主将

新チームになり、先輩たちと比べられることが多くあり、弱いと言われてきました。でも、その悔しい思いに負けず、全員で努力してきました。新人戦では、先輩たちと同じ三位という結果でした。うれしい気持ちと、まだまだできるという気持ちになりました。

新型コロナウイルスが発生し、休校が続く、部活のできない日々が続きました。でも、部活はできなくても、個人で努力してきました。部活ができたことに感謝し、市長杯では、新人戦三位を越え、優勝します。

集大成

ソフト部主将

私は、部活動を通して、勝つことの難しさ、負けることの悔しさを学びました。

練習する中で仲間と意見が食い違い、試合に勝つことができないことに悩む時もありました。

それでも、諦めずに乗り越えてくれたのは、仲間や先生、家族などの支えがあったから



です。今まで支えてくれた人への感謝の思いを胸に、このチームで最後の大会を全力で戦い抜いてきます。

目標に向かって

バスケット男子主将

「もう一度先生を全国に連れて行けよ」と先輩たちと約束をしました。その言葉を胸に必ず全国へ行くこと一年前に決心しました。しかし、新型コロナウイルスで全中開催が中止となりました。最初は信じられませんでした。僕たちは何のために練習してきたんだと、無気力な日々を送りました。そんな時、先生からメッセージが届きました。その言葉

を胸にもう一度前向きに歩み始めることができました。目標である全中出場は叶いませんでしたが、また新たにできた目標を胸に頑張っていきたいと思えます。



支えてくれた人のために

バスケット女子主将

チーム発足から、つらい思いをすることが何度もありました。大切な試合で勝てなかったり、チームがまとまらなかつたり、不安なことばかりでした。でも、熱心に指導してくださった先生やコーチ、温かく応援してくれた家

族、そしてともに戦ってきたチームメイトがいてくれたからこそここまで頑張ってきた。支えてくれた人のため、全力で戦い、勝利をつかみとってきます。

走ることは楽しいこと

陸上部男子主将

スカッ。昨年度の大会で、リレーのバトンがうまくつながらず、目標タイムに届きませんでした。「前よりも速く走りたい」そんな思いで練習を重ね、自分なりに考えて走る中で、コンマ一秒ずつ速くなっていき、自分にとって、走ることは楽しいことなんだと気付くことができました。

中学校最後のレースでは、練習してきたポイントを出しきり、自己ベストの記録で走ります。

充実した部活動

陸上部女子主将

私たちの二年間の部活動は、仲間と助け合い、ときにぶつかり合いながらも助け合って、充実した毎日でした。その中で私



ちが常に目指してきたのは、「一秒一cmを大切にすること」です。

市長杯では、支えてくださった方々に感謝の気持ちを忘れず、仲間と応援し合いながらそれぞれの目標に向かって戦います。そして、一人一人が笑顔で終われるように大会を楽しんでいきます。

一奮闘

水泳部男子主将

市長杯が初めて最後の大会になってしまいました。この最後の大会に向けて、限られた時間の中で、一人一人悔いのないよう自分の力をすべて発揮し、チーム一丸となって頑張ります。

全中に向けて応援してください。先生方、チームの仲間、家族。たくさんの応援が力となり、ここまで頑張ることができました。中学校生活最後の大会である市長杯でも、皆の応援を無駄にしないよう、この市長杯の個人種目で全中の標準記録を切るよう頑張りたいです。そして、今まで頑張ってきた仲間とともに総合入賞を目指します。

成長

水泳部女子主将

最初は、仲間とちよつとしたことでけんかになり、チーム一丸となること

度も救われました。中学校生活最後の大会で先生や親、コーチに感謝し、一秒一秒を大切に全力で戦ってきました。そして、みんなと喜びを分かち合っ、大好きな仲間と最高の恩返しをしたいです。

入賞を目指して

テニス部男子主将

僕たちは新人戦で失敗してしまい、悔しい思いをしました。その日から一年。常に新人戦の悔しさを思い出し、みんなで勝利を目指して練習をしてきました。現在、残り期間は少ないですが、とにかく声を出し、動きやショットの意味を考えて練習を繰り返しています。



これまで苦楽をともにした仲間を信じ、全力でプレイします。そして、初の入賞目指して頑張ります。

感謝の気持ちを忘れずに

テニス部女子主将

「団体戦ベスト4」これは私たちが一年間掲げてきた目標です。新人戦などの大会で、この目標を達成してきました。

最後の大会でも、この目標を達成してきます。また、女子ソフトテニス部の長所である、「明るく元気なテニス」で、勝ち進みます。

今まで支えてくださった先生、コ

チ、保護者のみなさんへの感謝の気持ちを忘れずに、必ず結果を残してきます。

仲間の存在

卓球部男子主将

次の大会に向けて着々と準備を進めていた二月、突然休校が決まりました。再開しても以前のような勤がありました。しかし、仲間の存在があったからこそ、協力し高め合い、そして、時にはけんかしながらも、ここまで成長できたのだと思います。

唯一の、そして最後の大会となる市長杯では、一人一人が最高のプレーをして、少しでも長く卓球ができるように戦います。



成長と努力

卓球部女子主将

私たちのチームは個性が強く、意見がまとまらないことが多くありました。しかし、この二年半でチームみんなが成長し、少しずつまとまるようになりました。一人一人が課題を見つけ努力をし、今まで練習に取り組んできました。思うように練習ができないときもありましたが、ともに頑張ってきた



た仲間、支えてくださった家族に感謝しながら、ひとつでも多く試合ができるように全力で戦ってきます。

感謝を胸に

剣道部男子主将

新型コロナウイルスという予想もなかった敵が、「全中出場」という僕たちの夢を打ち砕きました。試合ができず嘆いていた僕たちに、最後の大会を用意してくだ

さったことは本当にありがたく思います。ともに頑張った仲間と、指導してくださった先生、応援し、支えてくれた親への感謝の思いを胸に、「葵中剣道部は最強だった」と語り継がれる最高の試合をします。



ラストに向かって

女子剣道部

今年の部活の始まりは最悪なものでした。剣道は、面が付けられず声も出せない形で始まりました。今は少しずつ面を付けられるようになってきたけれど感覚を忘れたり、マスクを付けてやらなければならぬので夏の暑さもあつたりして大変です。しかし、ここを乗り越えることで一回りも、二回りも大きく成長できると私は思います。いろいろな学校の先生方が主催してくれる最後の大会は、一つでも上の順

位を目指します。

最高の仲間とともに

ハンドボール部主将

僕は、この三年間とても楽しかったです。僕たちは互いにアドバイスをし合い仲の良い集団でした。時には、けんかもしたけれど、その度にチームの心も一つになりました。そして、最後の大会。これまで積み上げてきたチームワークを発揮し、必ず「優勝」して、さらにやり切ったと感じられるような大会にしたいと思っています。



成長

バレーボール部主将

私たちは、新チームが始まってから練習試合を重ねてきました。しかし、自信をもって臨んだ新人戦で負けてしまい、公式戦での弱さ、ささいなミスからのチームワークの無さを感じました。この公式戦での敗戦からたくさん学ぶ、今も練習に生かしています。

新型コロナウイルスの影響で、練習や大会などがなくなりましたが、最後の大会に向けて支えてくれた周りの



方々への感謝の気持ちを忘れずに、最高の結果で終われるよう、戦っていきたいと思います。

笑顔で終われるように

サッカー部



部活動を通して、仲間、支えてくれる先生、家族の大切さに気付くことができました。仲間がいたからいろいろなことを乗り越えることができました。この仲間がいなかったら、一年生大会や新人戦で優勝できなかったと思います。

目標だった東海大会はなくなってしまうました。でも、市長杯で優勝して支えてくれた人たちへ恩返しをし、最高の仲間と喜び合いたいです。

令和二年度 生徒会役員

役員						会長
女子			男子			
三年二組	三年七組	三年七組	三年二組	三年四組	三年一組	三年二組
三年四組	三年三組	三年七組	三年二組	三年四組	三年一組	三年七組
三年五組	三年四組	三年三組	三年二組	三年四組	三年一組	三年七組



よりよい葵中へ

生徒会長

休業期間を終えて、やっと新しい一年をスタートすることができました。僕は会長として、より充実した楽しい葵中をつくることができますように活動していきたいと思っています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、中止や縮小となった行事もありますが、今できることを考え、一人でも多くの葵中生の笑顔が増えるように、精いっぱい頑張ります。

よりよい葵中をつくるためには、全校のみなさんの協力が必要です。葵中生全員で、この葵中を盛り上げていきましょう。よろしくお願いします。

今後の予定



- 七月
- 一五日(水) 夏の大会選手激励会
- 一六日(木) ひまわりプロジェクト
- 一八日(土) 市長杯
- 二〇日(月) 給食終了
- 二一日(火) 半日授業開始(～八月六日)
- 二八日(火) 期末テスト(～三〇日)
- 八月
- 七日(金) 一学期終業式
- 二四日(月) 二学期始業式
- 二五日(火) 給食開始
- 二六日(金) 保護者会(～二七日)
- 給食ありに変更



〈授業でも頑張っています〉

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵中新聞の発行が不定期となります。ご了承くださいますようお願いいたします。

葵が丘



耐え難きに耐え、忍び難きに忍ぶ

三年学年主任 波江野寛之

四月二十四日、全国大会の中止の発表。ここまで頑張ってきた子供たちにとってどのような形で伝えればよいかと悩んだ。このとき、医療現場では、私たちの想像を絶する状態が起きていた。「防護服を着るとき、つらくて涙が出て、精神が壊れているのかもしれない」と言う医者があった。「私たちの命の保証は誰がしてくれるの」、家族から「帰って来ないで」と、言われている看護師もいた。肉体的にも、精神的にもぎりぎりの中で、命懸けで日本を守ろうと戦ってくださったっている方々のことを思うと、自分の好きなことをどうこう言うわけにはいかないと感じた。私たちのために力を尽くしてくださっている方々に心から感謝するとともに、今自分ができることを、守らなければいけないことを実践していかなければならぬと強く思った。

しかし、二十七か月頑張ってきた三年生にとっては、この夏の大会の縮小はなかなか受け入れ難い。真剣であったからこそ虚無感を覚えたのかもしれない。今は我慢のとき。これで競技人生が終わりではない。部活動に傾けた真剣さを大切に、みんなの輝く未来のために、目標を新たに頑張っていきたいと強く願う。